



令和4年 1月  
奥田北小学校図書室  
NO. 9

みなさんは、どのように新しい年をむかえましたか？

《一年の計は元旦にあり》

「何をするにも最初にしっかり計画をたてるのが大切だ」という意味です。

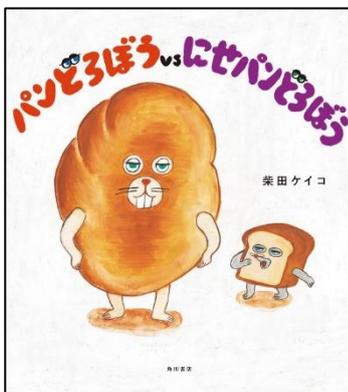
(『ことわざ絵事典』より)

充実した年になるように、目標をもって、それに向かっていけたらいいですね。



本を返し終わった人から、貸し出しを始めます。返し忘れた本がないか、もう一度確認してください。

3学期も、たくさんの本を読んでくださいね。



『パンどろぼう VS にせパンどろぼう』  
柴田ケイコ / 作 (KADOKAWA)

どろぼうをやめた「パンどろぼう」。今はもりのパンやさんで、大好きなパンを作っています。

ところがある日、パンどろぼうが作ったぶどうパンが盗まれてしまいます。そこで、怒ったパンどろぼうは、ぶどうパンに変身して犯人を捕まえることにしました。





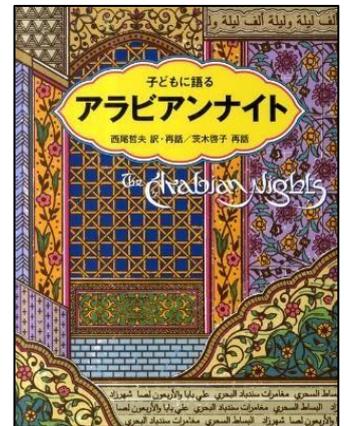
『宇宙スパイウサギ大作戦』

岡田貴久子／作

ミヤハラヨウコ／絵（理論社）

身長38センチ、体の幅20センチ、体重1.5キロのかわいいピンクのぬいぐるみのウサギ。しかしその実態は、地球侵略を企てるE・T（地球外生命体）だったのです。ウサギが、地球侵略のため潜り込んだのは、ハルという女の子が住む家の隣にある空き家でした。ウサギはハルを手下にして仕事を始めることにしました。

『子どもに語る アラビアンナイト』 西尾哲夫／訳・再話  
茨木啓子／再話（こぐま社）



「アラビアンナイト」または「千一夜物語」というお話を知っていますか？知らないという人も「アリババ」のお話や「シンバード」（シンバッドとなっているお話もあります）のお話だと言ったら分かる人もたくさんいるのではないのでしょうか。

ペルシアという国のお妃シェヘラザードが、王さまのために毎夜毎夜語り続けたお話だと言われているこの物語。一番面白いところでお話をやめていたのはどうしてなのでしょう。そして、なぜ物語を語り続けたのでしょうか。

### 『1月って どんな月？』



新しい年の始まりは、空気までがすっかり新しくなったような、すがすがしさを感じさせてくれます。1月のことを日本の古いよび方で「睦月」といいます。これは、新しい年を、みんなで「なか睦まじく（なかよく）祝う月」という意味です。この他にも「太郎月」「初春月」「祝月」などのよび名があります。

『新・きょうはなんの日？ 1月・2月』より

